opusdei.org

属人区長のメッセージ(2019年9月9日)

十字架の悲しみにおいて、 光、平和、喜びと出会った聖 母に目を向けるようにと、 フェルナンド・オカリス神父 は招きます。

2019/09/09

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に!

来る9月14日の典礼は、聖なる十字 架の称賛について黙想するよう、ま た、その翌日に悲しみの聖母を黙想 するよう、私たちを招きます。

この教えをすべて理解できないとしても、とりわけ十字架の下の聖母へ目を向けるなら、苦しみの出来事についてより深く理解することができ、「キリストの体である教会のために、キリストの苦しみの欠けたところを身をもって満たしています」

(コロサイ1,24) という聖パウロの言葉の意味を次第に理解していくことでしょう。こうして、苦しみは、光、平和、さらに喜びに出会う場へと変わることでしょう。「Lux in Cruce, requies in Cruce, gaudium in Cruce. (十字架において光、十字架において安らぎ、十字架において喜び) | 。

心からの愛情をこめて祝福を送りま す。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2019年9月9日

日本語訳ダウンロード(PDF形式)

<u>原稿スペイン語ダウンロード(PDF</u> 形式) pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messeji-2019-9/(2025/12/19)